

## I 時系列別の食事状況

災害の規模により、施設の食事を取り巻く状況や対応は異なります。時系列によって想定される状況は下表のとおりです。

	小規模災害	大規模災害
<b>平常時</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策マニュアルの整備</li> <li>・災害訓練（配食含む）の実施</li> <li>・備蓄品の保管及び管理</li> <li>・災害ネットワークの確立・強化 等</li> </ul>	
<b>フェーズ0</b> (災害発生後 24 時間以内) 初動体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(場合により) ライフライン一部寸断</li> <li>・備蓄食品による食事提供</li> <li>・物資搬入の遅延</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフライン寸断</li> <li>・設備の破損</li> <li>・調理従事者の人員不足</li> <li>・備蓄食品による食事提供</li> <li>・物資搬入の停止</li> <li>・外部との連絡不通</li> </ul>
<b>フェーズ1</b> (災害発生後 72 時間以内) 緊急対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提供献立の一部見直し</li> <li>・(破損した場合) 設備の修繕</li> <li>・ライフライン復旧</li> <li>・物資搬入の正常化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部からの被災者受入れ</li> <li>・物資や人員の要請</li> <li>・備蓄食品による食事提供</li> <li>・破損設備の修繕</li> </ul>
<b>フェーズ2</b> (4 日目～1 ヶ月頃) 応急対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の食事提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフライン復旧 (一部)</li> <li>・救援物資による食事提供</li> <li>・衛生状態の問題</li> <li>・健康状態悪化の問題</li> </ul>
<b>フェーズ3</b> (1 ヶ月以降) 復旧・復興対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフライン復旧 (一部)</li> <li>・厨房設備復旧</li> <li>・通常の発注・納品再開 (一部)</li> <li>・食事提供再開 (一部変更)</li> </ul>

※上表の「大規模災害」とは、被害が広範囲であり通常の給食提供が極めて困難な規模の災害を示しています。

※フェーズの分類は、日本栄養士会「災害時の栄養・食生活支援マニュアル」(平成 23 年 4 月) に準じて設定しています。

想定する災害の規模によって対策や食品の備蓄量が異なります。大規模災害を想定したマニュアルを策定する場合は、ライフラインが寸断した前提での食事提供の流れや備蓄品等を記載する必要がありますが、実際の災害では想定外にライフラインの復旧が長引いたり、物資の到着が遅れて備蓄品が無くなる等の事態が考えられます。例えば貯水が無くなった場合、どこから、どのような手段で、どこへ運び込むのか等、マニュアルに示していない事態も想定して話し合っておくことが大切です。